

第18回国労東日本 婦人部委員会開催

東日本エリアの なかまが勢ぞろい!

さる十二月十二日東京新橋交通会館にて第十八回国労東日本婦人部委員会が開催され、北は青森・盛岡から長野まで多くの婦人部員が集まり労働実態を出し合い交流しました。

来賓は本部から伊藤書記長、加藤本部婦人部長が見え挨拶しました。議長は東京地本のTさんでした。

佐々木婦人部長挨拶

ご苦労様です。

六月に盛岡地本のSさん、十一月は高崎のKさん、そして十二月は問う境地本のSさんが卒業ということで組織的には大打撃です。Kさんは現在体調を崩されたという事で今日は残念ですが欠席です。委員会に出席された皆様によろしくとの事でした。

新規加入がないまま組織減は大変辛いことです。組織問題は急務です。平成採用の若い人たちに大胆に働きかけていきたいと思います。

私たちの働く状況は仙台でも泊まり勤務が多く入り、厳しくなっています。十一時間立ちっぱなしの勤務も出てきました。新宿も泊まり勤務が入るよと予告を受けています。私たちは、健康を守り働き続けるために、職場実態を出し合い知恵を出し合って実りある委員会にしていきたいと思います。

伊藤書記長挨拶

昨年十二月二日最高裁判決が出て、JRの責任なしが確定した。しかし一九八六―七七年までの不当労働行為の事実認否がされていない。運動は右肩下がりが、国労は剰余金の三千万円を全国キャラバンに投入し全国キャンペーンを広げている。



十二月八日出向事件については和解についている。東京のベンディングは大幅な削減が提案されている。ベンディングは国労や体調を崩して本務から離れてきた社員がいるので、本人の希望に添った配転をと交渉している。

JRは二〇〇五年には全社員の二〇%が、女性社員が占めるようになる。医療は、昔は医療協議会があったが医療として分けて交渉するように考えていかなければならない。

加藤本部婦人部長

挨拶

婦人部組織も全国で一〇八名になってしまった。卒業という形で減少してきている。数年で八十を割るだろう。組織対策は急務だ。世話役活動、相談役などになりながら組織拡大を目指した運動が必要だ。



Fプログラムが出ているのは東日本だけだ。女性社員に対する接触を持ちながらFプログラムについても労働条件改善のため、上手に利用できるところは利用していきたい。

私も東日本婦人部員の一人として皆さんと歩んでいきたい。

青年部メッセージ

先日十九日青年部は委員会を開催した。東日本には三二名の青年部員がいる。JRの締めつけが厳しく国労に入りたいが出来ないと訴える社員もいる。組織拡大は急務である。社員が安心して働ける職場を作るために頑張ろう。

実態交流から

新宿駅

男性社員の皆さんへと題してアンケート調査をやった。東労の若い女性社員も一緒にアンケートを配ってくれたから国労だけでなく東労の男性社員も参加してくれた。東労の女性は回収率にこだわったが私は回答してくれば回収率はどうでもいいと考えていた。結果は回収率・六五%だった。組合別では東労のほうが少しだけ高かった。国労はアンケート調査には弱いのかも。集約はこれからです。やりっぱなしとはいかないのでむしろこれからのほうが大変だと考えている。

一月から泊まり勤務を入れるといった。東労の若い女性が

やっているのに出来ないとはいえない。やりますとは心えた。安全問題は未解決だ。男女平等のところだけ突っ走っている。男性も女性も安心して働けるようガードマンを配置するよう要求している。

郡山駅

昨年七月からテレホンが委託になり、郡山駅で出札にいます。三月にYさんが宅配に飛ばされた。男の人たちも退職が続いて要員不足だ。会社は、ワンフロア化にして人員を少なくして、社員が出札も改札も何でも出来るようにするつもりだ。先月から改札に入っているが、東京からのお客は危険度がアップする。改札は一人になってしまいう時間があるので心配だ。

仙台のテレホンセンターも四月から出札に入っている。

仙台病院では、育児休暇を二年取る人が出て後補充が無い。残っている人たちはどうなるのか？

青森駅

MV三〇が二月から入るといわれている。改札に泊まり勤務という話はあるらしいが、インフォメーションは従来どおりと言われている。若い人たちと話をするが組織拡大にはつながらない。



長い間一緒に闘って来た清塚さんと白井さんが、十月十二月と卒業になりました。委員会参加の皆さんのサイン入り色紙と恒例のコーヒークップを贈りました。清塚さんは体調がすぐれず欠席でしたが常任委員会が責任を持って贈ります。

白井さんの挨拶

後何日あと何日と勤めてきました。二七日には辞令をくれるそうです。国労があつたから、ここまです。怪我をして杖を突いて職場にき

たときはきつかった。足の怪我なのに頭の働きも鈍くなってしまう感じがした。

こども達も伝染病になって一人が治ったと思ったら二人目がかかるといったことを繰り返しながら働いてきたことが思いだされる。六十歳の定年まで勤めてこれた皆さんに感謝している。四十年も働いたと充実した気持ちだ。

一円カンパ

お蔭様で一円カンパは、四四二円集まりました。ご協力有難うございました。

今後の予定

二月四日 第二回常任委員会
二月五日 東日本拡大委員会

新役員紹介

婦人部長	佐々木久恵	東京
副部長	小野寺京子	盛岡
常任委員	横山幸子	仙台
	倉石真知子	長野
	斉藤七重	水戸

よろしく願います！

卒業おめでとう！
清塚さん、白井さん